

朱子学の思想家

2018 年本試

問 4 次の文章は、近世において学問がどのように学ばれていたかについての説明である。文章中の ～ に入れる語句の組合せとして正しいものを、下の①～⑧のうちから一つ選べ。

近世に学問が興隆した背景の一つに、出版業の発展がある。 は、初学者に向け、和文で『大和本草』『養生訓』などを著し、その書は広く読まれた。書物の普及につれて、塾や学校が各地に設立された。例えば、懐徳堂からは、儒学や仏教などがいかに歴史的に展開するかに関して加上説という考え方を唱えた など、独自の学説を打ち出す人物が数多く輩出した。

塾や学校では、漢籍の素読のほか、師匠による講釈、現在の読書会にあたる会読などが行われた。山崎闇斎は、朱子学の真髄を伝えようとして講釈を重要視したが、朱子の解釈に頼らず儒学の原典に直接向き合うことを重視した は、講釈よりも会読を重視した。このように、思想的立場の違いは教え方の違いにも反映された。

- | | | | | | | |
|---|---|------|---|------|---|------|
| ① | a | 貝原益軒 | b | 安藤昌益 | c | 新井白石 |
| ② | a | 貝原益軒 | b | 安藤昌益 | c | 荻生徂徠 |
| ③ | a | 貝原益軒 | b | 富永仲基 | c | 新井白石 |
| ④ | a | 貝原益軒 | b | 富永仲基 | c | 荻生徂徠 |
| ⑤ | a | 本居宣長 | b | 安藤昌益 | c | 新井白石 |
| ⑥ | a | 本居宣長 | b | 安藤昌益 | c | 荻生徂徠 |
| ⑦ | a | 本居宣長 | b | 富永仲基 | c | 新井白石 |
| ⑧ | a | 本居宣長 | b | 富永仲基 | c | 荻生徂徠 |

| 問題番号 | 設問 | 解答番号 | 正解 | 配点 |
|------|----|------|----|----|
| 第3問 | 問4 | 23 | ④ | 3 |

2017 年本試

問 4 朱子学に関わりのある江戸時代の思想家の説明として最も適当なものを，次の①～④のうちから一つ選べ。

| |
|----|
| 23 |
|----|

- ① 藤原惺窩は，朝鮮の朱子学から影響を受け，現実の秩序を軽視する仏教に疑問をもち，時期・場所・身分に応じた道徳的实践を説いた。
- ② 山崎闇斎は，自己を修める方法として朱子学で説かれる敬を重視し，君臣関係の絶対性を強調した。
- ③ 貝原益軒は，朝鮮の言語や文化の研究を行い，日本と朝鮮の文化交流に尽力して，国家を超えた普遍的な原理の必要性を述べた。
- ④ 佐久間象山は，アヘン戦争を契機に，それまで信奉していた朱子学を批判し，西洋の道徳と技術を取り入れることの重要性を主張した。

| 問題番号 | 設問 | 解答番号 | 正解 | 配点 |
|-------|-----|------|----|----|
| 第 3 問 | 問 4 | 23 | ② | 2 |

問5 次の文章は、儒学者の室鳩巢が人倫を重視する立場から、仏教を批判したものである。この文章に表れた彼の考えとして最も適当なものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 24

但^{ただ}君を捨て親を捨てて仏に帰して、我が身一つを助けむと思ふは、世をば捨つれども、其の心は、君に代へ父に代へても、身をば捨てぬにてありけり。身を捨てずしては、世を捨つとも言ふべからず。世にありて名利を願ふも、世を捨てて極楽を願ふも、清濁は変はれど、身の楽を思ふは同じかるべし。……とても*捨つるとならば、第一に身の楽を思ふ心をも捨てて、^{きて}扱名利に離れて見よかし。世を逃るるにも及ばず、名教**中に自然の楽地あるべし。……人倫を捨て事物を離れて、ただ己が往生極楽を願ふは、世を捨つると言へど、いまだ身を捨て得ぬより起りて、楽欲甚だしとも言ふべし。

(『^{すんだいざつわ}駿台雑話』より)

*とても：いずれにせよ

**名教：ここでは「聖人の教え」を指す

- ① 極楽への往生を願うのは、主君や親を捨ててでも自分が救われようとする
ことである。むしろ、そのように自分の楽を思う心をまず先に捨てれば、聖
人の教えに適った安楽の境地が開けるのである。
- ② 極楽への往生を願うのは、主君や親を捨ててでも自分が救われようとする
ことである。むしろ、そのように自分の楽を思う心をまず先に捨てて、主君
や親の往生を願うならば、自分の往生も^{かな}叶うのである。
- ③ 親や主君を捨てて極楽への往生を願ったとしても、一人きりでは楽は小さ
い。自分の楽を求めるのであれば、主君や親とともに楽を分かち合える聖人
の教えに従った方が、より大きな楽が得られるのである。
- ④ 親や主君を捨てて極楽への往生を願ったとしても、親や主君を捨てた罪が
消えるわけではない。聖人の教えに従い自分の楽を思う心を捨てて、その罪
を^{あがな}贖うならば、極楽に往生するよりも大きな楽が得られるのである。

| 問題番号 | 設問 | 解答番号 | 正解 | 配点 |
|------|----|------|----|----|
| 第3問 | 問5 | 24 | ① | 3 |

2016 年追試

問 4 江戸時代の儒学者についての記述として**適当でないもの**を，次の①～④のうちから一つ選べ。

| |
|----|
| 23 |
|----|

- ① 雨森芳洲は，堪能であった朝鮮語の能力を生かして朝鮮使節を応接するとともに，外交関係の構築には誠意と信頼を根本とした「誠信」が重要であると説いた。
- ② 新井白石は，文治主義による政治の実践に関わるとともに，密入国したイタリア人宣教師への尋問を通して，世界の地理やキリスト教に関する新たな知識を摂取した。
- ③ 山鹿素行は，朱子学で説かれる理を観念的なものと批判し，古典の言葉を正確に理解する古学の方法によって，六経に記された先王の道を学ぶべきであることを主張した。
- ④ 伊藤仁斎は、『論語』や『孟子』に説かれた言葉を，朱子の注釈に ^よ拠らずに熟読して深く理解しようとする古義学を唱え，「忠信」の実践による「仁愛」の実現を強く求めた。

| 問題番号 | 設問 | 解答番号 | 正解 | 配点 |
|-------|-----|------|----|----|
| 第 3 問 | 問 4 | 23 | ③ | 3 |

2015 年追試

問 1 日本における神々への信仰の説明として最も適当なものを，次の①～④のうちから一つ選べ。

| |
|----|
| 20 |
|----|

- ① 奈良時代には，共同体の上位者や神々への忠誠心が正^{せい}直^{ちよく}として，朝廷を中心に重視された。
- ② 平安時代には，神仏習合が進み，神は根源であり，仏はその現れと考える本地垂迹説が現れた。
- ③ 鎌倉時代には，神道は，清浄や慈悲などを強調したかたちで，親鸞の浄土信仰と結び付いた。
- ④ 江戸時代には，神道を，仏教ではなく，朱子学の教えと結び付けた垂加神道が提唱された。

| 問題番号 | 設問 | 解答番号 | 正解 | 配点 |
|-------|-----|------|----|----|
| 第 3 問 | 問 1 | 20 | ④ | 2 |

2014 年追試

問 4 次のア～ウは、儒学に基づいて生きることを主張した江戸時代前期の思想家についての説明であるが、それぞれ誰のことか。その組合せとして正しいものを、下の①～⑧のうちから一つ選べ。 23

ア 孝に、人倫関係を成り立たせている根本原理を見だし、すべての人が儒学を学び実践すべきだと主張した。

イ 敬と義を重視して君臣関係のあるべき姿を論じるなど、厳格に朱子の教えを守って生きるべきだと主張した。

ウ 武芸を重んじ学問を軽んじる当時の武家の風潮に対し、武士は、儒学に基づき、為政者としての役割を果たすべきだと主張した。

- | | | | | | | |
|---|---|------|---|------|---|------|
| ① | ア | 山崎闇斎 | イ | 中江藤樹 | ウ | 熊沢蕃山 |
| ② | ア | 山崎闇斎 | イ | 山鹿素行 | ウ | 中江藤樹 |
| ③ | ア | 中江藤樹 | イ | 山崎闇斎 | ウ | 山鹿素行 |
| ④ | ア | 中江藤樹 | イ | 熊沢蕃山 | ウ | 山崎闇斎 |
| ⑤ | ア | 熊沢蕃山 | イ | 中江藤樹 | ウ | 山鹿素行 |
| ⑥ | ア | 熊沢蕃山 | イ | 山鹿素行 | ウ | 中江藤樹 |
| ⑦ | ア | 山鹿素行 | イ | 山崎闇斎 | ウ | 熊沢蕃山 |
| ⑧ | ア | 山鹿素行 | イ | 熊沢蕃山 | ウ | 山崎闇斎 |

| 問題番号 | 設問 | 解答番号 | 正解 | 配点 |
|-------|-----|------|----|----|
| 第 3 問 | 問 4 | 23 | ③ | 3 |

2013 年本試

問 5 次のア～ウは，自然や世界について実証的考察を行った思想家についての説明であるが，それぞれ誰のことか。その組合せとして正しいものを，下の①～⑥のうちから一つ選べ。

| |
|----|
| 25 |
|----|

- ア 動植物への関心から博物学的な知のあり方を追究する一方で，日用の道徳を分かりやすく説くなど，朱子学を日常に活かす試みを行った。
- イ 懐徳堂に学び，地動説に基づく独自の宇宙論を展開し，合理主義的観点から，靈魂の存在を認めない無鬼論を展開した。
- ウ 懐疑的態度から世界のあり方を問い，気や理などの朱子学の用語を用いて自然の法則を探究し，条理学を構築した。

- | | | | | | | |
|---|---|------|---|------|---|------|
| ① | ア | 貝原益軒 | イ | 三浦梅園 | ウ | 山片蟠桃 |
| ② | ア | 貝原益軒 | イ | 山片蟠桃 | ウ | 三浦梅園 |
| ③ | ア | 三浦梅園 | イ | 貝原益軒 | ウ | 山片蟠桃 |
| ④ | ア | 三浦梅園 | イ | 山片蟠桃 | ウ | 貝原益軒 |
| ⑤ | ア | 山片蟠桃 | イ | 貝原益軒 | ウ | 三浦梅園 |
| ⑥ | ア | 山片蟠桃 | イ | 三浦梅園 | ウ | 貝原益軒 |

| 問題番号 | 設問 | 解答番号 | 正解 | 配点 |
|-------|-----|------|----|----|
| 第 3 問 | 問 5 | 25 | ② | 3 |

2013 年追試

問 4 朱子学に ^か関わりのある儒学者について説明した文章として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

| |
|----|
| 24 |
|----|

- ① 藤原惺窩は、禅僧として朱子学を学んでいたが、やがて仏教を離れた。彼は、理に従って欲望を捨てることで、本来の心を保ち、天と合一できるとして、神道を取り入れた神儒一致を主張し、垂加神道を創始した。
- ② 中江藤樹は、はじめ朱子学を学んだが、やがて疑問を抱くようになり、陽明学に共鳴するようになった。彼は、すべての人が良知を身につけ、それを実践する知足安分が重要だと述べた。
- ③ 雨森芳洲は、朝鮮語に通じた朱子学者であり、対馬藩に仕えて朝鮮通信使との外交などにあたった。彼は、朝鮮の風俗・慣習を理解し、日朝の友好的な関係のあり方を模索した。
- ④ 新井白石は、朱子学を学び、やがて幕府の政策立案に関与した。彼は、宣教師から西洋各国の政治や地理を聞いて記録し、朱子学の立場にありながらキリスト教の信仰に寛容さを示した。

| 問題番号 | 設問 | 解答番号 | 正解 | 配点 |
|-------|-----|------|----|----|
| 第 3 問 | 問 4 | 24 | ③ | 3 |

2012 年追試

問 6 次のア～ウの朱子学者たちの説明として最も適当なものを，下の A～D から
選びその組合せとして正しいものを，下の①～⑧のうちから一つ選べ。 18

ア 山崎闇斎 イ 新井白石 ウ 林羅山

- A 朱子学に基づき，政治の場面で活躍するとともに，イタリア人宣教師シド
ッチとの対話に基づいて，世界の地理や風俗を記述し，朱子学の立場からキ
リスト教の教説に対する批判を述べた。
- B 心をつつしむ修養の厳格な実践を説き，後に儒教と日本の神話とを結合さ
せた垂加神道と呼ばれる独自の神道説を唱えた。また，京都に塾を設け多く
の門弟を養成した。
- C 従来の朱子学者は日本の神々を中心に考えてきたと批判し，朱子のみを尊
ぶ立場を選び，家や国家を超えた理に基づいて考えるべきだと説いたため，
師に破門された。
- D 万物を貫く普遍的な理を想定し，人の心のうちに宿る理を善とした。理の
正しい発現を妨げる人欲を悪とし，善の発現に向けて，事物の理を窮め，心
をつつしむ修養を説いて，官学の祖となった。

- ① アーB イーA ウーD
② アーB イーC ウーA
③ アーA イーC ウーD
④ アーA イーD ウーC
⑤ アーC イーD ウーB
⑥ アーC イーB ウーA
⑦ アーD イーA ウーB
⑧ アーD イーB ウーC

| 問題番号 | 設問 | 解答番号 | 正解 | 配点 |
|------|----|------|----|----|
| 第3問 | 問6 | 18 | ① | 3 |

2008 年本試

問 5 精神修養を重んじた思想家の山崎闇斎に関する説明として最も適切なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

| |
|----|
| 18 |
|----|

- ① 上下定分の理を具体化した礼儀法度の厳守を説いて、徳川幕藩体制の身分制度の確立に貢献した。
- ② 居敬窮理の厳格な実践を説き、後に儒教の理と日本の神とを結合させた独自の神道説を唱えた。
- ③ 商人の職分の意義を説き、常に正直と儉約の心で商売に懸命に励むなら、利潤追求も正当な営みとなると唱えた。
- ④ 一君万民を唱えることによって幕藩体制に一石を投じ、私を滅して忠を尽くすべきことを説いた。

| 問題番号 | 設問 | 解答番号 | 正解 | 配点 |
|-------|-----|------|----|----|
| 第 3 問 | 問 5 | 18 | ② | 3 |

2003 年追試

問 1 文章中の に入れるのに最も適当なものを，次の①～④のうちから一つ
選べ。

儒学を中国生まれの思想とし，日本の優位を主張した を始めとして，中国
への距離感を深めていく様々な思想が登場してくる。

- ① 国家神道 ② 垂加神道 ③ 教派神道 ④ 伊勢神道

| 問題番号 | 設問 | 解答番号 | 正解 | 配点 |
|-------|-----|------|----|----|
| 第 3 問 | 問 1 | 22 | ② | 2 |

2002 年本試

問 3 日本の朱子学者たちが仏教を批判した理由として**適当でないもの**を，次の①～④のうちから一つ選べ。

| |
|----|
| 24 |
|----|

- ① 仏教は最終的な人間の救済を来世に求めているから。
- ② 仏教は出家と称して現実の人間関係を否定しているから。
- ③ 仏教は男女平等を説き，武家社会にふさわしくないから。
- ④ 仏教は かど加持 きとう祈禱 で災いを除くといって人々を惑わしているから。

| 問題番号 | 設問 | 解答番号 | 正解 | 配点 |
|-------|-----|------|----|----|
| 第 3 問 | 問 3 | 24 | ③ | 3 |

2001 年本試

問 6 古学派の立場をとった人物として**適当でないもの**を，次の①～④のうちから一つ選べ。

| |
|---|
| 8 |
|---|

- ① 伊藤仁斎 ② 荻生徂徠 ③ 山鹿素行 ④ 新井白石

| 問題番号 | 設問 | 解答番号 | 正解 | 配点 |
|-------|-----|------|----|----|
| 第 1 問 | 問 6 | 8 | ④ | 2 |

2000 年本試

問 1 文中の 24 に入れるのに最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 24

近世に入ると、儒学者の中にも、日本を「東^と夷^い（東方の未開国）」とする見方に反発し、日本文化の独自性に注目しようとする者も現れた。例えば山崎闇斎は、正統的な朱子学者を自認したばかりでなく、同時に日本の神道も熱心に信奉していた。その弟子には、自国こそがそこに住む人々にとっての「中華」・「中国」であると主張する者もいた。こうした自文化中心主義は、国学や水戸学でさらに展開される。しかし同じ朱子学者でも、国家を超えた宇宙の理法を強調した佐藤直方や、朝鮮との外交実務を通じて、異文化への積極的理解を説いた 24 のような思想家もいた。

- ① 中江藤樹 ② 山鹿素行 ③ 渡辺崋山 ④ 雨森芳洲

問 3 山崎闇斎は、正統的な朱子学者を自認したばかりでなく、同時に日本の神道も熱心に信奉していた。ある時、山崎闇斎に弟子が、「もし孔子・孟子が日本に攻めてきたら、先生はどうしますか」と質問したという言い伝えが残っている。その時の闇斎の答えとして最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 26

- ① 儒学者である以上、どこの国の人間であろうと、孔子・孟子には人格的に服従しなければならない。したがって、彼らが攻めてきたら、日本人としての立場を捨て、ただちに降伏すべきである。
- ② 日本人は日本の道を守ることが、儒教の教えにもかなうことである。したがって、孔子・孟子が相手といえども、自国のために戦うべきであり、そうすることがかえって、彼らの説く道に従うことにもなる。
- ③ 儒教だけが、国を超えた普遍的な倫理を説く唯一の教えであり、他国を侵略することは、その教えに反する行為である。したがって、孔子・孟子が自らの道に矛盾した行動をとるなら、儒教の道にのっとなって彼らを撃破する。

- ④ 日本人には、日本の道こそが最も重要であり、儒教はそれを学ぶための手段にすぎない。したがって、孔子・孟子が攻めてくるようなことがあれば、儒学者としての立場を捨てて、自国を守るために戦う。

| 問題番号 | 設問 | 解答番号 | 正解 | 配点 |
|------|----|------|----|----|
| 第4問 | 問1 | 24 | ④ | 2 |
| 第4問 | 問3 | 26 | ② | 3 |

2000 年追試

問 3 朱子学者貝原益軒の著作として流布している『女大学』は、後世の人が益軒の著作を用いて作り上げたものとされているが、益軒の考え方の一部をことさら強調したものとなっている。次の益軒の著作と『女大学』の記述とを比較した上で、両者の差異を記した文として最も適当なものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 25

貝原益軒の著作から

「赤ん坊は人生のはじまりである。この時は誰^{だれ}もみな性質が似ている。誰もまだものを習っていない。理性や思考もまだ起こっていないが、その善をなし悪をなす別れ道はここにある。」

「家をよく保つのと保たないのとは、夫の徳不徳ばかりでなく、妻の行いの善悪にもよる。夫は外を治め、妻は内を治めるのが職分である。」

『女大学』から

「女子は陰性である。陰というのは夜のことで暗いことだ。そのため女は男と比べると愚かであり、今まさにすべきことを知らない。」

「婦人は他に主君はいない。夫を主人だと思って敬い慎んでつかえるべきだ。軽く考え侮ってはいけない。総じて婦人の道は人に従うことにある。」

- ① 益軒が普遍的な世界観に立って男女の同等の権利を説くのに対して、『女大学』は両者の本質的な差異を説いている。
- ② 益軒が自由で主体的な生き方の確立のために女性の教育を説くのに対して、『女大学』は女性に対して家族道徳のみを説いている。
- ③ 益軒が性差だけでなく、人間本性の共通性をも説くのに対して、『女大学』は夫への従属を専ら女性の生得的な性質として説いている。
- ④ 益軒が個性に基づく女性の役割を説くのに対して、『女大学』は性の役割分担を宿命的なものとして説いている。

| 問題番号 | 設問 | 解答番号 | 正解 | 配点 |
|------|----|------|----|----|
| 第4問 | 問3 | 25 | ③ | 4 |